

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年 1月24日

協議会名: 福島町地域公共交通確保維持改善協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社 山崎ハイヤー	岩部線 発地: 岩部地区 経由: 千軒地区を除く 福島町全域 着地: 吉岡・美山地区	老朽化した車両の更新に合わせてステップや手すりなどの車内設備の充実を図った。(平成28年10月導入) また、回数券の新規導入に向けた利用者アンケート調査を実施し、回数券の導入を決め、作成を行った。 (平成29年10月販売開始)	A	事業は適切に実施された。	A 延べ利用者数は、目標値である3,100人に対し、3,371人となっており、目標を達成した。 便平均利用者数は、目標値である2.1人/便に対し、2.2人/便となっており、目標を達成した。	延べ利用者数及び便平均利用者数ともに目標値を達成したが、今後の人口減少や利用者の高齢化に対応できるよう、引き続き利用促進を図る。 具体的には、作成した回数券の周知や回数券を活用した利用促進を実施するとともに、地域間幹線系統等、町内を運行する交通機関との連携を検討する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年 1月24日

協議会名：	福島町地域公共交通確保維持改善協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	福島町は、渡島半島の南端に位置し、面積は187.28km²、平成29年12月末現在の人口は4,232人、うち65歳以上の人口は1,905人で45%を占めている。 福島町の公共交通は、昭和63年までJR松前線が存在したものの、この路線の廃止後は、松前線代替バスとして、函館バス株式会社による路線バス運行がなされている。 この代替バスは、町内を縦貫する国道228号沿線を運行する地域間幹線系統である。 町内の集落間を運行する公共交通が存在しないことから、檜倉や吉岡の一部の沢沿いの集落や一般道道岩部渡島福島停車場線沿線の塩釜、浦和、岩部といった地区は交通空白地となっており、地域間幹線系統の利用も困難となっている。 また、福島町の高齢化率は42%（平成27年国勢調査）であるものの、60歳以上の人口が高い割合を占める現状を踏まえると、今後、高齢化はさらに深刻化することが確実であり、さらに、高齢者ドライバーによる交通事故増加等の問題が懸念されるところである。加えて、高齢化に伴い各居住地からバス停留所までの徒歩による移動が困難となる住民が増加することを考えると、ドア・ツー・ドア性の高い移動手段の確保が重要になると考える。 本計画は、地域間幹線系統である松前線廃止代替バスに接続する地域内フィーダー系統の運行により、町内の交通体系を確立することで公共交通の利便性向上を図り、もって利用促進を図るものである。

福島町地域公共交通確保維持改善協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

町内には集落間を運行する公共交通が存在しないことから、松前線廃止代替バスが運行している国道沿線以外は交通空白地となっている。また、当町の高齢化率は42%と高く、さらに、60歳以上の人口が高い割合であることから、高齢化がさらに深刻化することが確実であり、今後ドア・ツー・ドア性の高い移動手段の確保が重要になると考える。

本事業は、地域間幹線系統である松前線廃止代替バスに接続する地域内フィーダー系統の運行により、町内の交通体系を確立することで公共交通の利便性向上を図り、もって利用促進を図るものである。

生活交通確保維持改善計画の目標

目標：福島町デマンドバスの延べ利用者数及び1便あたりの利用者数の増加

指標	目標値
延べ利用者数	3,100人
1便あたりの利用者数	2.1人/便

平成29年度事業概要

岩部線

運行方法：デマンド型運行

運行経路：岩部地区 ～ 千軒地区を除く福島町全域 ～ 吉岡・美山地区

運行便数：1日10便 ※土・日・祝及び年末年始(12/30～1/3)は運休

運賃：1回300円 障がい者(※)半額(150円) 小学生以下無料 ※身体障害者手帳保持者・療養手帳保持者・精神障害者手帳保持者

支払方法：現金

予約：第1便から第4便：前日の19時まで それ以外の便：運行開始の1時間前まで

地域公共交通の現況

- ・福島町デマンドバス(岩部線1路線)
- ・函館バス株(木古内松前線1路線)
- ・スクールバス
- ・温泉優待バス(月約20回運行)
- ・タクシー事業者(1社)

協議会開催状況

- ・平成27年度 第1回協議会 平成28年2月5日(金)
 - (1)福島町デマンドバス事業評価について
 - (2)平成28年度福島町デマンドバス運行計画について
- ・平成28年度 第1回協議会 平成28年6月20日(月)
 - (1)平成28年度福島町デマンドバス運行計画について
- ・平成28年度 第2回協議会 平成29年1月16日(月)
 - (1)福島町デマンドバス事業評価について
 - (2)回数券の導入について
- ・平成29年度 第1回協議会 平成29年8月22日(火)
 - (1)平成28年度福島町デマンドバス運行計画について
- ・平成29年度 第2回協議会 平成30年1月23日(火)
 - (1)福島町デマンドバス事業評価について

平成29年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・町広報やニュースレターにて、継続的な情報発信と利用方法の周知を実施した。
- ・平成28年10月1日に老朽化した車両から新車へと車両更新を実施し、併せて乗降時のステップや手すりを装備し、高齢者や障がい者でも利用しやすいよう車内設備の充実を図った。
- ・また、外装には、町内の小学生が描いた絵を配し、ひと目でデマンド車両であることがわかるようにしたことで、描いた小学生のみならず、町民のマイバス意識の醸成に向け、配慮した。
- ・上記の車両更新について、町内イベントにおいて、運行前の乗車体験と利用方法の説明を実施した。



【参考】

- ・平成29年10月1日より回数券を導入し、運賃の支払いやすさの向上並びにインセンティブの付与による利用促進を図っている。

販売額 : 1,500円
 利用可能額: 1,800円
 (12枚綴り: 1片あたり150円)
 割引率 : 16.7%

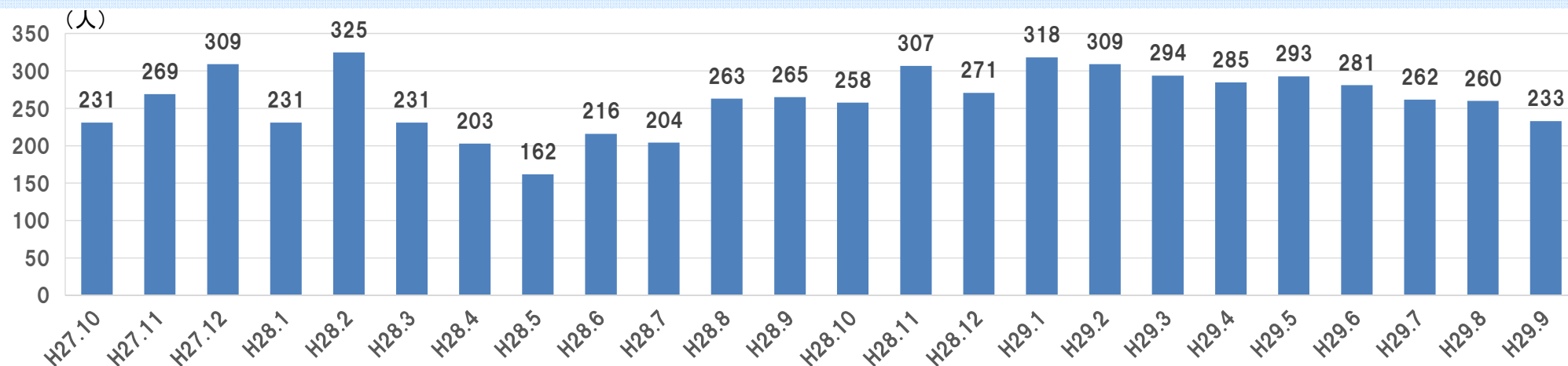


2) 運行系統



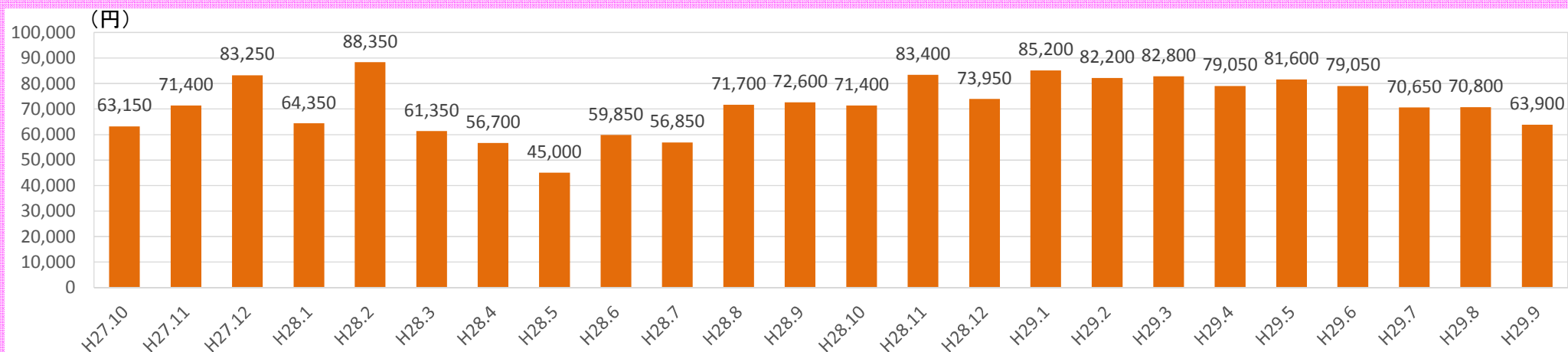
3) 利用実績

H28:2,909 H29: 3,371 計:6,280 (小学生以下含む)



4) 収入実績

H28:794,550 H29:924,000 計:1,718,550 (税込)



5) 事業実施の適切性

事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

延べ利用者数は、目標値である3,100人に対し、3,371人となっており、目標を達成した。

便平均利用者数は、目標値である2.1人/便に対し、2.2人/便となっており、目標を達成した。

7) 事業の今後の改善点

延べ利用者数及び便平均利用者数ともに目標値を達成したが、今後の人口減少や利用者の高齢化に対応できるよう、引き続き利用促進を図る。

具体的には、作成した回数券の周知や回数券を活用した利用促進を実施するとともに、地域間幹線系統等、町内を運行する交通機関との連携を検討する。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄